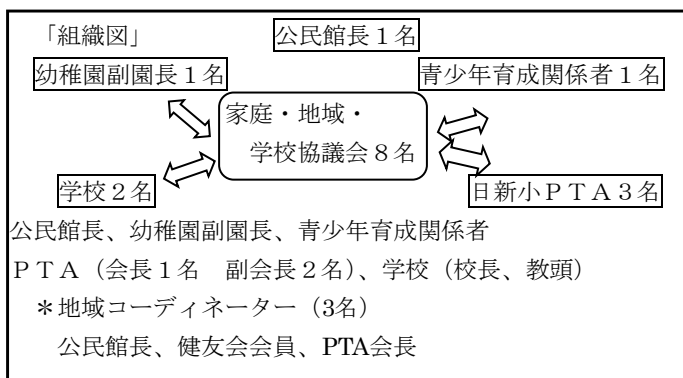


令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

福井市日新小学校

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



(2) 協議会の内容

- 開催実施回数
年間3回
- 開催時期
6月20日、10月26日、2月21日
- 協議内容
 - ・学校の教育方針、教育活動について
 - ・地域素材の活用（施設・文化・人材）について
 - ・児童の安心安全について
 - ・学校評価について

(3) 協議会における成果と課題

地域と学校の関わり方とその方法や下校時の見守りについて協議し、年度途中で児童の下校を見守りができる方を募集し、活動していただけることとなった。また、次年度の取組として、学校と地域が関わる方法も策定し実施することとなった。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

- 地域の社会資源や人的資源を生かして、地域の現状・地域の福祉・地域の産業・地域の歴史や文化を学び、地域への誇りや思いを高め、一人一人の児童に「生きる力」を培う。
- 地域の文化や人との関わりの中で、児童が地域のもつ良さにふれることで、「ふるさと福井」、「ふるさと日新」に誇りや愛着をもち、心豊かにたくましく生きる子どもを育てる。

(2) 活動の実際

①(例)日新地区調べと地域への発表

3年生は「総合的な学習の時間」の取組として地区調べを行った。その中で疑問に思ったことやさらに調べたいことが生じ、学年での話し合いの結果、日新公民館に協力をお願いすることになった。担当の児童が地域コーディネーターと打合せを行い、校外学習では「日新地区のひみつをさぐれ」のテーマで、公民館から依頼された地元の方々のガイドのもと地区調べを再度行い、理解を深めた。また、地域の方むけの発表会を行った。発表会では、備品として購入したプリンターで印刷した資料を提示した。



②(例)伝統文化体験と地域への発表

6年生は、教科で日本の文化を学ぶ中、伝統文化を表面的にしか分かっていないことに気づいた。そこで児童たちは、伝統文化について話したり体験を提供したりしていただける方を紹介していただきたいと地域コーディネーターに相談した。そこで、華道と茶道の講師を紹介していただき、伝統文化体験会を催した。また、華道作品を地域への発表として公民館に展示した。日本の伝統文化に触れることで、日新地区を誇りに思い、伝統文化を大切にしていこうとの重要性を理解することができた。

(3) 地域コーディネーターの活動概要

地域の人材紹介、児童と地域人材間の初期交渉

(4) 特に工夫した事項

児童が地域コーディネーターとの相談に向けた準備に、児童の意見を十分反映させたこと

(5) 成果と課題

児童が地域の方々と活動を進めることで、その交渉力を高めるとともに、予定の活動への寄与が大きくなり、活動への主体性が高まった。また、そうした中で地域の方々とのつながりが深まり、他の地域イベントへの参加も増えた。地域への愛着も高まっている。

地域コーディネーターのおかげで、各行事に適切な地域人材を紹介いただけたが、下準備に関する教師の負担は増えている。今年度の教師の経験や下準備の手法等が次年度に引き継がれ、来年度の教師負担が軽減されるようにしていきたい。

